

能田忠亮 歴学、理學博士。明治二十四年愛媛縣生れ（一九〇一—）。大正十五年京都帝國大學理學部宇宙物理學科卒。大學院を経て昭和四年同大東方文化研究所研究員、天文曆算研究室主任。戦後大阪學藝大學教授。日本天文学會評議員。

著書 『東洋に於ける曆の政治的・文化史的意義』（昭和十七年十一月緒言・大政翼賛會興亞局「曆法調査資料」）、『曆の軌心』（昭和十八年一月緒言・大政翼賛會興亞局「曆法調査資料」）、『曆の本質とその改良』（昭和十八年十一月一日日本放送出版協會）、『漢書律曆志の研究』（藪内清共著、昭和二十一年六月）二十五日京都・全國書房「東方文化研究所研究報告」）、『曆』（昭和二十二年五月）二十日正文堂「日本歴史新書」）等。

